

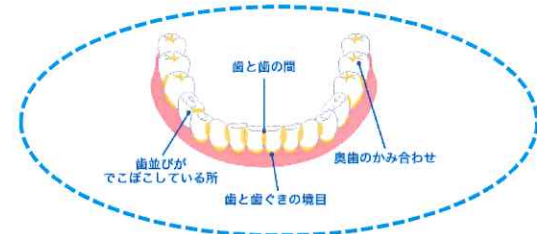


6月23日の歯科健診の結果をご報告します！

クラス名	ひよこ	あひる	ぺんぎん	ねこ	とら	らいおん
(受診者数)	(10)	(19)	(23)	(22)	(23)	(21)
治療していない虫歯がある子	0	0	0	1	2	4
虫歯の治療が完了している子	0	0	0	1	2	3
虫歯本数	0	0	0	1	2	9
永久歯の本数	0	0	0	0	0	11

<星野先生からのコメント>

- 右面に示しているところが磨き残しが多く、^{しこう}歯垢がたまりやすい場所です。気をつけてみがきましょう。
- 食べたらすぐに歯磨きをすることが大切です。
- 子どもだけでは磨き残しがありますので、仕上げ磨きはとて大切です。小学校の低学年までは続けましょう。



子ども達の大好きなプール・水遊びがはじまります！

楽しく、安全に遊べるために～

- ① 毎日お風呂に入り、洗髪する
- ② 爪は短く切る
- ③ 耳鼻科で耳掃除をする
- ④ 朝ごはんをしっかりと食べる
- ⑤ たっぴり眠る

- ◎ 水いぼ治療中のお子さんはラッシュガードを使用するようにしてください。ガーゼや虫よけパッチ、ホクナリンテープ(=気管支拡張剤)、絆創膏を貼った状態でプール・水遊びは行えません。
- ◎ 喘息・気管支炎・中耳炎等で治療中の病気があるお子さんは、プール・水遊びの参加の可否も含めてかかりつけ医師にご相談ください。

●●6月の感染症(健康状況)●●

- ・溶連菌感染症・・・11名
- ・はやり目(流行性角結膜炎)・・・1名
- ・手足口病・・・2名
- ・とびひ(伝染性膿痂疹)・・・1名
- ・水いぼ(伝染性軟属腫)・・・1名

この他、発熱・下痢で休んだお子さんが多く、みられました。
 ※ 発熱で休んだお子さんの中には、肺炎・気管支炎、喘息、中耳炎と診断されたお子さんがいました。
 ※ 0歳児クラスで下痢のお子さんが多くみられました。

ベビーカーの注意点

ベビーカーに乗っている子どもは地面に近い位置にいるので、体感温度は大人より2～3℃高いと言われています。散歩をする時は涼しい時間帯を選び、照り返しの少ない土の路面にしましょう。日除けの屋根が付いていても、夏場は30分以内に留め、子どもの様子を時々チェックしながら、脱水症状を起こさないよう水分補給はこまめに行いましょう。

夏の栄養補給

夏場、人の体はエネルギーの消費が多くなる一方で、暑さで食欲がなくなってしまふ悪循環に陥ることがあります。効率的なエネルギー摂取と疲労回復に、ビタミンB₁たっぷりの食材

ビタミンB₁たっぷりの食材

特に豚肉に多く含まれており、夏野菜と組み合わせたレシピがお勧めです。ニンニクやネギとの組み合わせはビタミンB₁の吸収がよくなります。他にもうなぎの蒲焼、豆腐やゴマ、枝豆などにも多く含まれています。

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。

プール熱(=咽頭結膜熱)

プールで感染することもあり、高熱が3～5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。

手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうがで、発熱することもあります。食事はのどごしのよいものを食べましょう。

はやり目(=流行性角結膜炎)

目が腫れ、充血し、ふだんより多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるのでタオルは共有しないようにしましょう。

※「ヘルパンギーナ」も「手足口病」の登園のめやすは、発熱がなく、ふだんの食事ができることです。